



こだわり、盛りだくさん。  
家族5人がワクワクと、楽しく暮らせる住まい。

中庭には、四季折々に目を楽しませてくれる植栽も。

も必要ないし、窓を開けっ放しにしても  
プライバシーを保てます。そのうえ、「空  
間の広がり」と「一体感を感じられる」という  
利点も。いっぽう「以前の狭いキッチンでは、  
料理をする時に『お手伝いしたい』と子ども  
たちがせがんでも手伝わることができな  
くて…」と振り返る奥さま。キッチンとダイ  
ニングを直線型にレイアウトし、広い作業ス

ペースを確保した。「これからは、子どもた  
ちと一緒にゆったりと料理を楽しめます」。  
中庭から陽差しが差し込む明るいダイニン  
グ・キッチンは、奥さまの望みどおり「家族  
の集まる空間」となっている。  
「子どもたちがワクワクするような空間づ  
くり」も家づくりの柱。二階の廊下には中  
庭を見下ろせるカウンター、子ども部屋に  
設けたロフトには、

近々「プランコ型ハ  
ンモックを吊るす  
予定」だとか。ま  
た、主寝室と階段  
でつながる屋根裏  
には、ご主人念願  
の趣味室も。掘り  
込み式の無垢板の  
デスクを設けた三  
畳の和の空間で、  
仕事を忘れて読書  
や音楽を楽しんで  
いるそう。  
そうしたさまざまな楽しさとともに、共  
働きで忙しい日々を送る奥さまのために機  
能性も重視。設計段階で図面の上に「日の  
家事動線や生活動線を引いてシミュレー  
ションし、いくつもの工夫を施した。仕事着  
や子どもたちの制服など平日用の服を一階  
で管理できるよう、家事スペースに大きなク  
ローゼットを確保したり、掃除の負担を軽減  
するためにトイレの床を洗えるタイルにし、  
男女の便器を別々にしたり…。こうしてお  
けばよかったということは、ひとつもありませ  
ん。あますことなく想いを詰め込んだ新居  
に、家族全員が大満足している。



「いつまでも飽きないよう、違った素材を組み合わせ  
て表情をつけたい」と、外壁にはタイル、石、杉板をバ  
ランスよく配した。



土間の左手には、両親や友人たちが宿泊する時のために落ち着いた雰囲気の和室を設けた。



左/2階の子ども部屋にはロフトを設けることで、上下の広がりを出し、  
右/植栽を設けた坪庭が迎えてくれる玄関土間。

近々「プランコ型ハ  
ンモックを吊るす  
予定」だとか。ま  
た、主寝室と階段  
でつながる屋根裏  
には、ご主人念願  
の趣味室も。掘り  
込み式の無垢板の  
デスクを設けた三  
畳の和の空間で、  
仕事を忘れて読書  
や音楽を楽しんで  
いるそう。  
そうしたさまざまな楽しさとともに、共  
働きで忙しい日々を送る奥さまのために機  
能性も重視。設計段階で図面の上に「日の  
家事動線や生活動線を引いてシミュレー  
ションし、いくつもの工夫を施した。仕事着  
や子どもたちの制服など平日用の服を一階  
で管理できるよう、家事スペースに大きなク  
ローゼットを確保したり、掃除の負担を軽減  
するためにトイレの床を洗えるタイルにし、  
男女の便器を別々にしたり…。こうしてお  
けばよかったということは、ひとつもありませ  
ん。あますことなく想いを詰め込んだ新居  
に、家族全員が大満足している。

感性ある住まい やすらぎの住宅  
com HOUSING 50th ANNIVERSARY

岡山市北区十日市中町6-22  
☎0120-67-2102 fax.086-223-2103  
◆営/10:00~17:00  
◆休/水曜・祝日  
※オープン時間外もご連絡をいただければ相談に応じます。  
http://www.comhousing.com  
※「オセラ」掲載のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。



ウォールナットを敷き詰めたダイニング・キッチン。階段横の杉板の壁が、土間の和の趣とこのモダンな  
雰囲気を、しっかりと調和させている。



「以前に住宅メーカーに勤めたことがあるの  
ですが、当時は間取りにしても部材にして  
も、いくつかのなかから選ぶのが当たり前だ  
と思っていました。そう話すのは、この三月  
に当邸を完成させたN家のご主人。「空間の  
つくり方や部材選びなど、あらゆるものが  
自由な家づくりに、目からウロコが何十枚も  
落ちました。何より、デザイン性の高さが決  
め手でした」とも。  
タイル貼りの壁が印象的な玄関の扉を開  
くと、ダークな色調の土間空間。昔の農家  
などで見られた「土間の縁台に腰をかけて  
話をする」という風景が心に残っている」と話  
すご主人が、どうしても叶えなかった空間  
だ。古民家を連想させる土間の奥にある引  
き戸を開くと、雰囲気は一転。中庭を囲む  
ビングとダイニング・キッチンの明るく開放  
的な空間が広がる。「南北に細長く、南に道  
路があるんですが、中庭のおかげでカーテン



邸内は、歳を重ねても違和感なく暮らせるよう、落ち着いたトーンの色調で設けられている。